

様式第12号 (第11条関係)

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 7 年 1 月 9 日

市川市長

団体名 市川児童合唱団

(団体番号 45)

代表者名

所在地

令和 6 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,187,288	円
(2) 補助対象経費総額	330,000	円
(3) 補助金交付決定額	150,000	円
(4) 補助金交付概算払額	150,000	円



様式第 8 号（第 8 条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和 7 年 1 月 9 日

市川市長

団 体 名 市川児童合唱団

（団体番号 45 ）

代表者名

所 在 地

令和 6 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」事業

2 変更の内容

代表者を から に変更いたしました。

3 変更の理由

代表者退団のため。

(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」事業
	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください
補助決定事業の実施内容 計画に照らした事業の実施結果を記載してください	実施時期 令和6年11月04日（月／祝） 実施場所 全日警ホール（市川市八幡市民会館） 内容 添付したプログラムによる「市川児童合唱団 第49回定期演奏会」を企画・制作し、開催いたしました 参加人数 出演した団員 38名 上演 staff 5名、裏方 staff 11名（外部講師も含みます） その他の関係者（OG・OB・父母会）25名 入場者237名 左記入場者の8割が市川市民です チケット番号を記載把握することで、市内の方をカウントしています
広報の実施状況 市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載して下さい	広く市民の参加を呼びかけるため、以下の広報活動を実施致しました ① インターネットを活用し情報発信 → ホームページ ② フリーペーパーへの掲載 → 「いちかわよみうり」「アエルデ」等 ③ 広報いちかわ（市民の広場）に掲載 ④ その他 最寄り駅、市立公民館、公立小学校 及び 幼稚園へのチラシ配布とポスター掲示 ⑤ いちかわテレビの取材と放映
	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等、得ることができた成果を具体的に記載して下さい
補助決定事業の成果 課題をどのように解決することができたのかを記載してください	5歳から17歳のこどものスマホ保有率は、2024年8月時点、50%に垂んとしています。この状況が進行し、その比率がやがて100%になった時、どんな未来がやって来るのでしょうか？ 1998年にひとつの興味深い試みが行なわれました。「F・F・N（Future From Now）」と名付けられたその企画は、アニメ雑誌や漫画雑誌、そしてインターネットで、近未来社会がいかなる姿になっているか、読者たちから様々なアイデアを募集する、というものでした。 京極夏彦の小説『ルー＝ガルー』は、こうして一般公募されたアイデアを基にし構築された、2030年から2053年までのどこかを舞台とする、衝撃的な小説です。公募から作品刊行まで、なんと3年を要した一大プロジェクトでした。 『ルー＝ガルー』の主人公である14歳の少女たち（4人）が生きているのは、こどものスマホ保有率が100%に達したところか、さらにさらにその先にある社会です。すべての人々は携帯端末の所持が義務化され、これがなければ生活することが困難な社会。完璧なデジタル・ネットワークが完成し、人々はそれに依存して生きること疑問を持たなくなります。人々の情報はあらゆる面で管理され、個性は均一化され、人と人との接触はおおよそ不要となった結果、冷たい無機質な社会がそこに展開されます。 絵空事と笑い飛ばすことが難しいこうした近未来の到来、その足音を背後に聞きながら、私たち市川児童合唱団は本年も、バーチャルな仮想環境とは馴染まない活動、ひたすら他者と向かい合い血の通った交流を構築しなければ成立しえない活動に取組みました。 舞台作品が創造される現場、そこには人と人との個性のぶつかり合いがあります。他者とは異なった表現の手段や方法があります。それらを理解し合い協力し合い融合することによってはじめて完成するのが、私たちの取組んできたジャンルであります。

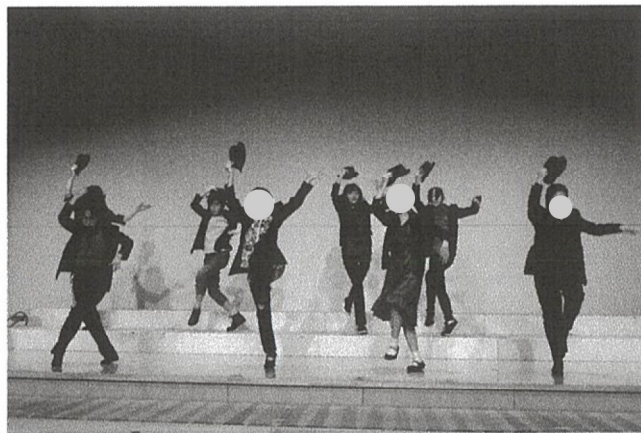
	今回の私たちのミュージカル『すてきな夢をうりましょう』は、さらにはテーマそのものが、人と人とのふれあいやきずなの言語化・形象化をめざしたものであったと言えます。 なぜなら、作品の主人公である謎の商人は、寂しかったり哀しかったり苦しかったり、生きることが何だか重荷であると感じている人たちのもとにやって来て、彼らにすてきな夢を売り歩くのですから。謎の商人は言います、わたしの夢の代金はお金ではありません、あなたの歌が聞きたいのです、あなたの歌こそわたしの夢の代金です、と。 市民活動団体補助事業の理解と援助によって、今回もまたこうしたひとつの舞台作品が完成いたしました。市川市からの金銭的な補助があつてこそ、外部に委嘱し招聘したプロフェッショナルな方々（振付、演奏、舞台・照明・音響のスタッフ）の助力が可能になったことは言を俟ちません。 私たち市川児童合唱団は、本年の作品の制作に携わったこどもたちが、オンラインゲームやソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS）とは違う、みんなが集まらなければ成立し得ない性質の活動、みんなが集まって、歌ったり踊ったり、たえまなく心をひとつにしなければならない活動に、感動の源泉を見つけてくれたであろうことを、大きな手応えとともに感得いたしました。 補助決定事業の成果について、以上、ここに報告いたしたいと存じます。
	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 （今後の方向性）	インターネット社会がもたらす対人関係の稀薄化は、偶発的のものではなく一過性のものでありません。今後ますます必然の流れとして私たちの社会に浸透し常態化してゆくものと思われまふ。 そうした既定路線とも言える奔流に対峙して、人と人との顔が見える対人関係を見失わないためにも、バーチャルでない創造活動は、連綿として継続して行かなければならないように思えてなりません。 ……私たちのささやかな活動に対する共感の輪が少しずつでも広がってゆくよう、広報その他に知恵を絞って行きたいと考えております。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル

市川児童合唱団 第49回 定期演奏会 撮影年月日/令和6年 11月04日 (月/祝)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称:「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」事業

1 【収 入】

(単位：円)

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	845,000	演奏会費 16,000円×38人＝ 608,000円 チケット販売 全自由席 1,000円×237枚＝ 237,000円
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	50,000	協賛金 ニッケ・コルトンプラザ 50,000円
その他 (赤字補填)	142,288	団体の本会計より充当
合計	1187288	

2 【支 出】

(単位：円)

項目	支出金額	内 補助対象金額	説明 (積算等)
報償費	828,000	270,000	外部講師等の招聘あり 謝金 (補助対象金額) ① 指揮者 50,000円 (内 50,000円) ② ピアノ 30,000円 (内 30,000円) ③ キーボード 30,000円 (内 30,000円) ④ ドラム 20,000円 (内 20,000円) ⑤ 打楽器 20,000円 (内 20,000円) ⑥ 振付 50,000円 (内 50,000円) ⑦ 舞台監督 10,000円 (内 10,000円) ⑧ 音響 (サウンド・オフィス) 150,000円 (内 50,000円) ⑨ 照明 助手 10,000円 (内 10,000円) (①～⑨) / 小計 370,000円 (内 270,000円) ⑩ 演奏 (講師) 練習謝金 240,000円 (内 00,000円) ⑪ ダンス (講師) 練習謝金 168,000円 (内 00,000円) ⑫ ビデオ制作 スペースフォト 50,000円 (内 00,000円)
消耗品費	14,707	0	消耗品費 (補助対象金額) ⑬ 事務用品 他 (内訳は領収書を参照) 14,707円 (内 00,000円)
印刷製本費	114,243	60,000	印刷製本費 (補助対象金額) ⑭ あとりえむじいか 版下製作 (デザイン&データ) 30,000円 (内 00,000円) ⑮ ラクスル (株) チラシ (A4 両面 カラー) 21,250円 (内 21,250円) チケット (横型片面 カラー) 6,540円 (内 06,540円) プログラム (A3 カラー) 33,143円 (内 33,143円) (⑮+⑯) / 小計 60,933円 (内 60,933円) ⑰ しまうまプリント 写真プリント代 1,760円 (内 00,000円) ⑱ コピー代 21,550円 (内 00,000円)
通信運搬費	2,174	0	通信運搬費 (補助対象金額) ⑲ 通信費 (案内状&招待状郵送のための切手等) レターパック 860円 (内 00,000円) 切手 1,314円 (内 00,000円)
使用料及び賃借料	153,800	0	使用料及び賃借料 (補助対象金額) ⑳ 全日警ホール (八幡市民会館) 【11月3日】 ホール 使用料 / 16,300円 ㉑ 控室・練習室・会議室 使用料 / 12,230円 ㉒ 【11月4日】 ホール 使用料 / 16,300円 ㉓ 控室・練習室・会議室 使用料 / 12,880円 ㉔ (㉑+㉒+㉓+㉔) / 小計 57,710円 (内 00,000円) ㉕ 練習会場 (2024年7月14日～10月20日) 市川公民館 (内訳は領収書を参照) 68,800円 ㉖ 八幡市民会館 (内訳は領収書を参照) 27,290円 ㉗ (㉖+㉗) / 小計 96,090円 (内 00,000円)

原材料費	4,354	0	原材料費（補助対象金額） ② 音楽著作権 JASRAC 4,354円（内 00,000円）
保険料			
食糧費	70,010	0	食糧費（補助対象金額） ② 弁当代（内訳は領収書参照） 20,010円（内 00,000円） ③ 打上げ 50,000円（内 00,000円）
その他		0	
合計	1,187,288	330,000	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書（様式第11号）を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書（様式第12号）とともに領収書を添付する必要があります。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 7 年 3 月 31 日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば
(団体番号 47)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和 6 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	248,159円
(2) 補助対象経費総額	218,423円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	0円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ■市民向け基礎講座開催① 実施期日 令和6年11月24日(日) 実施場所 行徳公民館第5研修室 参加者:5名 ・実施内容 死後事務ってなに?死後事務の流れ~「終活をお考えのあなたに!」 ・講師 [REDACTED] ■市民向け基礎講座開催② 実施期日 令和7年2月3日(日) 実施場所 ZOOMでのリモート開催 参加者:5名 第1部「死後事務ってなに?/終活と死後事務の流れ」 ・講師 [REDACTED] ■ステップアップ講座開催 安心な生活を送るための成年後見 ~死後事務は、なにを、どこまでするの?~ ・第2部「死後事務委任契約を事例から考えてみよう」 ・講師:司法書士法人あすかフロンティア代表 [REDACTED] ★都合により当日キャンセルのため、[REDACTED](当会理事長)代演 参加人数 5名(他は、講師代演のため、キャンセル返金、参加者にも返金) 前年2月開催ができず、今回2月開催にこぎつけたが、第2部の外部講師が当日家族の不慮の事故にて講師が実施できなくなった。 そのため参加者に①延期②講義内容を別講師でとの選択をお願いし、みなさんが①を選択、5名のみそのまま代演講師にて講義を受講することになった。 ■出前講座 問合せがあり、2025年度実施を計画中です。 ■相談会 10月、11月、12月、1月、2月、3月の第2土曜日に開催するも問合せのみ。 企画に合わせ、11月24日にも追加開催するも問合せのみ
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・市川市内全公民館にてチラシ配布依頼 ・高齢者サポートセンターへの資料送付 ・市川市内福祉団体への資料送付 ・行徳公民館周囲へのポスト投函(市民向け基礎講座開催①)2000部(3件申込) ・市内南部マンション投函(市民向け基礎講座開催②)500部(反応なし) ・当会ホームページでの案内 ・行徳新聞・東京新聞への掲載依頼するも未掲載(市民向け基礎講座開催②) ★広報については、日常的な広報活動の見直しが必要と思われる★(改善策)
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 アンケートでは「終活は葬式のことでなかったのね」、「葬儀でも大変ね」、「終活の必要性和成年後見制度について知っておきたかった」「老後に向けてどのような準備が必要か判断能力があるうちに聞いておきたかった」といった内容の回答も見られており、自分自身の将来に向けて知識を深めたいと考えている市民の参加も見られた。講座を受講してのご意見では「制度を知ることができてよかった」「死後事務の内容、およびその費用を教えていただけてよかった。でも、こんなに高いのね」「このような企画を年に1度ぐらい開催してほしい」といった内容で、市民に後見制度を広めるという事業に一定の成果が得られたと思われる。 TV、新聞での情報が多くなっており、参加者も一定の知識はもっているものの①全体としての流れとしての終活の知識の理解不足、②自分の場合は、具体的にどうなのか、という視点では、まだまだ不足していると思われた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 今回の講座でも公民館のチラシによる市民の参加者が以前と比して増えており、また、年齢層は変わらず、40代から70代と幅広く、成年後見制度を含めた終活への市民の意識の高まりを感じた。今後とも、公民館での講座の開催はひつようかとおもわれた。企画内容については、参加者も一定の知識はもっているものの①全体としての流れとしての終活の知識の理解不足、②自分の場合は、具体的にどうなのか、という視点では、まだまだ不足していると考えられる。 主に、どう発信していくとその方たちに届くのか?広報の方法も含め、日常的な会自体の広報とともに見直しが必要かと思われる。会場近くでのポスト投函の一定効果と地域新聞との連携の為、地域新聞への掲載依頼と地域新聞への折り込みを検討していきたい。 この点を踏まえ、成年後見制度を近々に必要とする人やその関係者だけでなく、広く市民に向けた研修・講座を実施し、成年後見制度とその周辺知識について理解を深めていけるよう活動を継続していきたい。 ★来年度には、一般の方向けの「成年後見と死後事務」についての企画内容をバージョンアップをし、併せて、2021年に改定した「成年後見制度をよく知るために」を制度の一部見直しもあったため、この3年の成果として「死後事務」を追加したものを2025年度に作成する。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

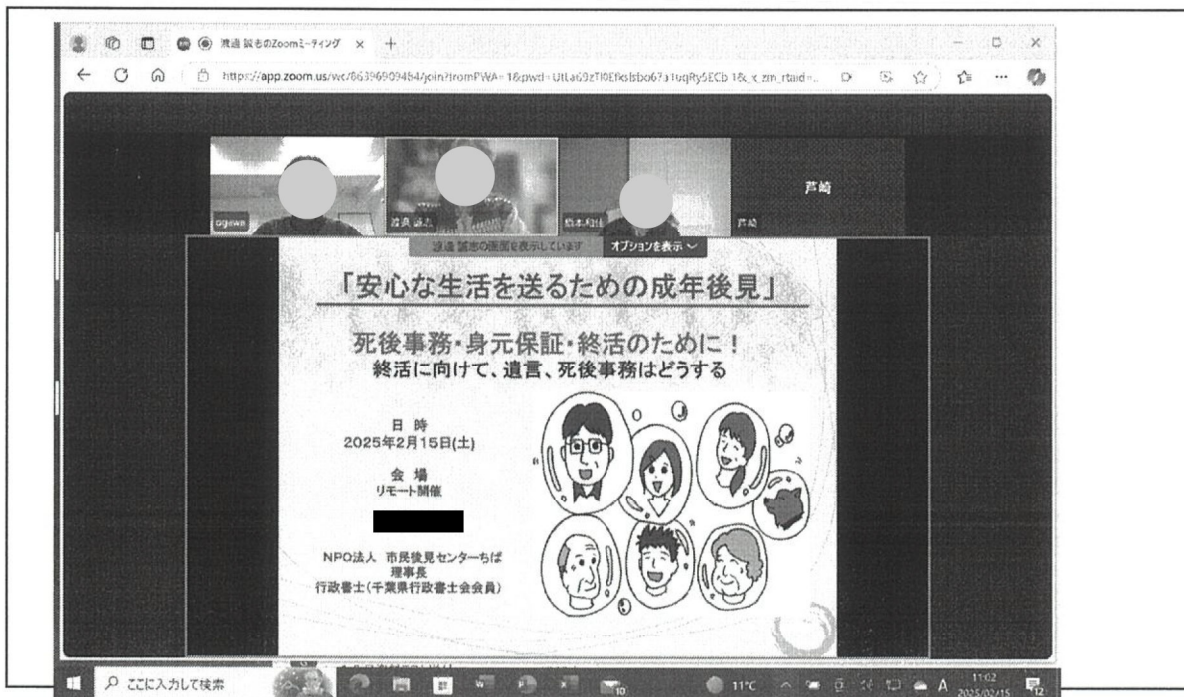
タイトル : 安心な生活をおくるための成年後見 講演 行徳公民館

撮影年月日 : 令和6年11月24日



タイトル : 安心な生活をおくるための成年後見講座 リモート開催

撮影年月日 : 令和7年2月15日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

1【収入】

項 目	金 額	説 明 (積算等)
事業収入	0	予定講師出席できず、全額返金しています
寄附金収入	0	
補助金収入	109,211	市川市市民活動団体事業補助金(概算払無し)
その他 (助成金等)		
会費充当	142,448	団体の本会計より充当
合 計	251,659	

2【支出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明 (積算等)
報償費	20,000	0	無料講座講師 〇〇〇〇〇〇 × 2回 10,000円 2/15外部講師代替講師 〇〇〇〇〇〇 10,000円
交通費	6,434	6,434	〇〇〇〇 (4,898円) 〇〇〇〇 (560円) 〇〇〇〇 (620円) 〇〇〇〇 (356円)
消耗品費	27,663	27,663	トナー (10,450円) トナードラム (10,340円) インクカートリッジ他 (6,873円)
印刷製本費	63,567	50,331	11/24チラシ (10,610円) 2/15チラシ (10,610円) 資料 (12,155円) チラシ (12,445円) 封筒 (角2-10,970円、長 3-6,777円)
通信運搬費	82,570	82,570	レターパック (8,600円 + 4,300円 + 42,140円) 56,040円 切手 (3,000円 + 11,000円 + 13,530円) 27,530円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	26,675	26,675	ZOOM使用料23,375円 11/24スクリーン使用料 (3,300円)
原材料費			
その他	24,750	24,750	ポスト投函 (16,500 + 8,250)
合 計	251,659	218,423	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 7年 2月17日

市川市長

団体名 ラーラ・マンドリンクラブ

(団体番号 53

代表者名

所在地

令和6年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	642,557
(2) 補助対象経費総額	620,557
(3) 補助金交付決定額	150,000
(4) 補助金交付概算払額	150,000



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

令和7年3月10日

市川市長

団体名 マトリ=合奏を通じて地域文化活動
(団体番号 53)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動
団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をし
たいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

マトリ=合奏を通じて地域文化活動

2 変更の内容

代表名の変更

3 変更の理由

令和6年4月1日 代表名 [REDACTED] 任期が満了し
令和6年5月～ 代表名 [REDACTED] としたため

(5) 実施報告

補助決定事業の名称	マンドリン合奏を通じての地域文化活動
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 実施時期：令和6年5月12日（日） 内容：ラーラ・マンドリンクラブ第47回定期演奏会 参加人数：1,360人（うち一般市民参加1,300人） 実施場所：市川市文化会館大ホール 第47回 ラーラ・マンドリンクラブ定期演奏会は、予定通り実施できた。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・公民館等公共施設にてチラシ配布 ・広報いちかわ5月号、地域新聞への掲載 ・当団体ホームページ及びマンドリン連盟等のコンサート情報ページへ掲載 ・過去年度来場者への招待はがきの送付
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 1,300人という多くの人々の来場があり、来場者アンケートからは、マンドリン音楽を初めて聴いた、マンドリンのやさしい音色に癒された、明るく楽しく演奏が聞けて元気がもらえた、心地よかった、また演奏を聞きたい等の感想を多くいただき、マンドリン音楽で心地良いひとときの時間を過ごしていただけたことがわかった。市民にとって身近な文化会館においてマンドリン合奏を通じ地域文化活動として貢献できた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 マンドリン音楽を鑑賞した多くの市民から「楽しかった、感動した」「なじみのある曲があってよかった」「元気になれる、心が癒された」等の感想を得ており、今後もさらに多くの市民の方が楽しくマンドリン音楽を身近に聞くことができるよう、地域に密着した演奏活動を続けていきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第47回定期演奏会(第1部)

撮影年月日: 令和6年5月12日 (



タイトル : 第47回定期演奏会(第2部)

撮影年月日: 令和6年5月12日 (



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：マンドリン合奏を通じての地域文化活動

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入		
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）		
会費充当	492,557	団体の本会計より充当
合 計	642,557	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	92,000	70,000	賛助演奏者4人60,000円 ステージマネージャー1人10,000円 受付2,000円×11人22,000円
交通費			
消耗品費			
印刷製本費	77,811	77,811	チラシ10,000枚24,288円、ポスター10枚3,300円 案内はがき1,712枚20,948円、プログラム2,000部25,355円 アンケート用紙2,000枚3,920円
通信運搬費	107,856	107,856	案内はがき1,712通107,856円
保険料			
使用料及び賃借料	364,890	364,890	市川市文化会館大ホール使用料175,450円 市川市文化会館付帯設備使用料114,310円 打楽器レンタル料75,130円
原材料費			
合 計	642,557	620,557	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年2月24日

市川市長

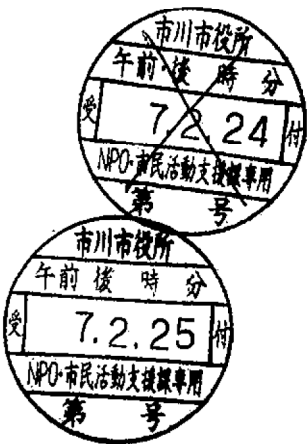
団体名 アンサンブル・市川
(団体番号 54)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	389, 202円
(2) 補助対象経費総額	279, 590円
(3) 補助金交付決定額	150, 000円
(4) 補助金交付概算払額	150, 000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「上質な吹奏楽につつまれて感動の生涯教育を！」
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 第41回定期演奏会 (2024年4月28日) 市川市文化会館大ホールで計画通りに実施 観客数：約1,010名
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	広報いちかわ・市川よみうり・地域新聞などに開催記事の掲載を依頼しました。 またポスター・チラシを市内の小・中学校、公民館や駅、楽器店などに配布すると共に、市内で行われた吹奏楽団などの演奏会にもチラシをはさみこみさせて頂きました。 過去の来場者へハガキやメールで演奏会のご案内を差し上げました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 今回の演奏会では昨年の来場者数約960名をさらに上回り約1010名のお客様にご来場頂きました。アンケートの結果から、初めてご来場下さったお客様が大幅に増加(昨年は25%、今回は37%)していることが分かり、SNSを使用した宣伝活動を新たに始めたことが功を奏したと考えられます。これからも様々なツールを使用し広く市民のみなさまに宣伝活動を行い、より多くの方々に演奏会に足を運んで頂けるよう尽力致します。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 当団ではこれまで演奏会案内用のハガキのデザイン・印刷をデザイン会社に委託しておりましたが、今回から団員がデザインすることによりコストを削減し、代わりに印刷部数を増やし宣伝活動の強化を図りました。また演奏会前日に実施していた本番会場でのリハーサルを会場費の安い他会場へ変更するなど、今後も様々な経費削減に取り組んで参ります。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

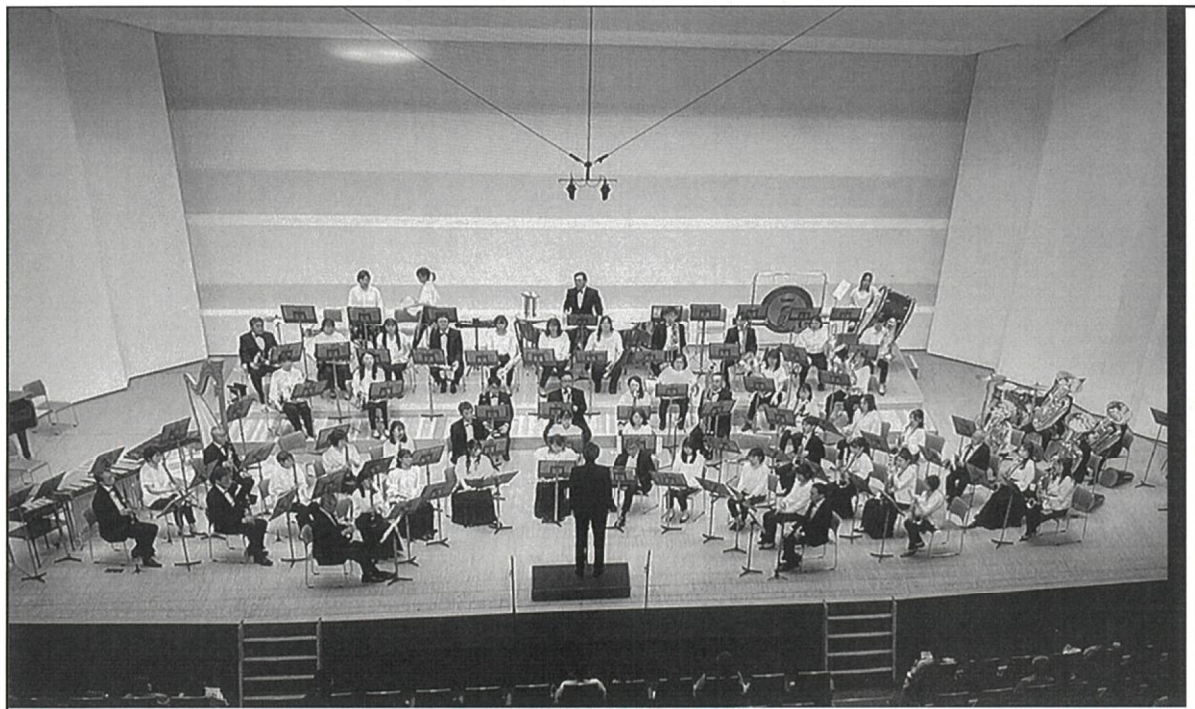
タイトル : 第41回定期演奏会 (第1部)

撮影年月日 2024年4月28日



タイトル : 第41回定期演奏会 (第2部)

撮影年月日 2024年4月28日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：「上質な吹奏楽に包まれて感動の生涯教育を！」

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	0	
会費充当	249,407	団体の本会計より充当
補助金返金	-10,205	
合 計	389,202	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	0	0	外部講師等の招へい あり <u>なし</u>
交通費	0	0	
消耗品費	0	0	
印刷製本費	34,390	34,390	プログラム1,200部（32000円）、案内ハガキ1,000枚（2390円）
通信運搬費	37,422	25,200	演奏会ハガキ594枚 切手代
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	317,390	220,000	市川市文化会館大ホールおよび付帯設備使用料
原材料費	0	0	
合 計	389,202	279,590	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 7年 1月10日

市川市長 田中 甲 様

団体名 国分川鯉のぼり実行委員会
(団体番号 57)

代表者名 [Redacted]

所在地 [Redacted]

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	761,355円
(2) 補助対象経費総額	555,905円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



補助決定事業の名称	国分川鯉のぼりフェスティバル
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 本年は第33回目の開催となりました。当実行委員会の念願であった鯉のぼり掲揚支柱用の基礎累計24ヶ所は、全て市川市により完成して頂きました。この結果作業効率は大幅に向上し、予定通りに鯉のぼりの掲揚が出来ました。 来場者が楽しみにするもう一つは、模擬店です。今回は42店舗が参加しました。二つ目は、演芸部門で、・和太鼓・市川市消防音楽隊・国分高校吹奏楽部・ストリートダンスにより、名演奏、名演技をして頂き、市川市北部の風物詩に彩を添えて頂きました。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	「広報いちかわ」・稲越自治会の「広報いながし」・「地域新聞」・「道の駅いちかわ」のご協力も含め、実行委員会オリジナル開催ポスターは、稲越はもとより、近隣自治会・商店・企業に配布、掲示も快くご協力して頂きました。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ここ数年の課題の一つに、鯉のぼりの損傷が目立ち始め、寄贈品のご協力も頂いていますが、追いつかず、3年計画で補助金を投入した新規購入に踏み切りました。目下の目標は500流になります。今回は、2年目となり、ピカピカの長さ5m級、およびミニ鯉を新規に補充し掲揚しました。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 課題と改善は上記に続きます。 課題の二つ目は、市川市の3大祭りになり、来場者の増加、マイカーでの参加者増が顕著になりました。この件での課題は、警備員数及び質と駐車場不足になります。警備の問題はコロナ前から懸念しており、素人の実行委員が行うには限界があります。マイカーでの参加者はお断りを継続しますが、市道038号(桜並木・東国分中・道の駅)付近の渋滞と混乱の交通整理は、実行委員の素人警備では無理(限界が有り)です。「警備員の数と質の面」からは、・プロの警備と「駐車台数の面」からは、・サッカー場の一部と・東国分中の校庭に駐車場の確保を市に望みます。 (今後の方向性) 国分川・春木川の浄化：甕れ清流について現状と一考 市川市の第4次生活排水対策推進計画を拝見すると、BOD、COD値については、ワースト時から改善が進んでいます。合併浄化槽も平成13年以降の新築住宅には義務化され、残るは直接放流の各家庭に引き続き、調理時の・米のとぎ汁等・スープ類の放流を避ける等アピールしてまいります。また当実行委員会では、アクリルタワシの使用励行で少量洗剤使用化等、家庭洗浄排水の放流軽減化を訴えてきましたが、SDGs12・14に目を転じますと、昨今マイクロプラスチック問題がクローズアップされ、スポンジ製品も含め、ポリエステル繊維、車のタイヤ(合成ゴム)、靴底のゴム、メラミン樹脂等が発生源である。可能である限りの代替品の使用や、これまで通り調理器具や食器の汚れをふき取った後の少量洗剤洗浄と水辺の清掃活動をアピールしてまいります。アクリルたわしの代替品としては、・天然の麻・綿・合繊でもレーヨン・植物由来のセルロース・シリコンたわし等への切り替えが必要になりました。2050年には世界の海に生息する魚の全種類よりも海洋のマイクロプラスチックの全重量の方が重くなると予測されています。これらは国家、全世界の課題ですが、微力ながら鯉のぼりフェスタでもアピールしていきたいと思えます。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 薫風に舞い上がる圧巻の鯉のぼり

撮影年月日 : 令和6年5月4日



ゴールデンウィークを彩る市川の風物詩

タイトル : 会場ピックアップ風景

撮影年月日 : 令和6年5月4日



皆で鯉のぼり掲揚



川上で泳ぐミニ鯉のぼり



和太鼓で会場を盛り上げ



多くの人が来場

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 国分川鯉のぼりフェスティバル

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	258,355	直営模擬店売上
寄附金収入	253,000	ご来賓参加費・近隣企業、商店、個人からの寄付金
補助金収入	150,000	市民活動団体事業補助金
その他 （助成金等）	50,000	観光協会より
会費充当	50,000	団体の本会計より充当
補助金精算額(返金)	0	▲ 令和6年の精算金
合 計	761,355	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等※別紙参照）
報償費	0	0	外部講師等の招へい ーあり／なし
交通費	0	0	今回は無し
消耗品費	479,638	455,900	ダンボール、番線、軍手、テープ類：14,589、その他別紙第33回大会鯉のぼり購入品支払いリスト参照
印刷製本費	20,000	20,000	ポスター、パンフレットデザイン製作費：20,000
通信運搬費	16,038	10,000	開催案内状：8,286・4月4,8,11日郵便代計：2,940・同左郵送費追加分：252・鯉寄贈者郵便料：1,200・模擬店案内郵送費30通：2,520
保険料	35,674	32,000	作業者がランティ保険：14,288・同左1日追加分：2,256・トラック21on：11,460、軽トラ保険：7,670
使用料及び賃借料	38,005	38,005	仮設トイレ賃借：16,005・同左清掃費：19,800・道路使用申請：2,200
原材料費	0	0	消耗品へ移行
協力者謝礼費	42,000		対象外
食糧飲料費	120,000		対象外
渉外活動費	10,000		対象外
—	—		
合 計	761,355	555,905	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2025 年 3 月 14 日

市川市長

団 体 名 赤レンガをいかす会

（団体番号 59 ）

共同代表 XXXXXXXXXX

所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

2024 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記
のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	328,900. 円
(2) 補助対象経費総額	306,880. 円
(3) 補助金交付決定額	150,000. 円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告

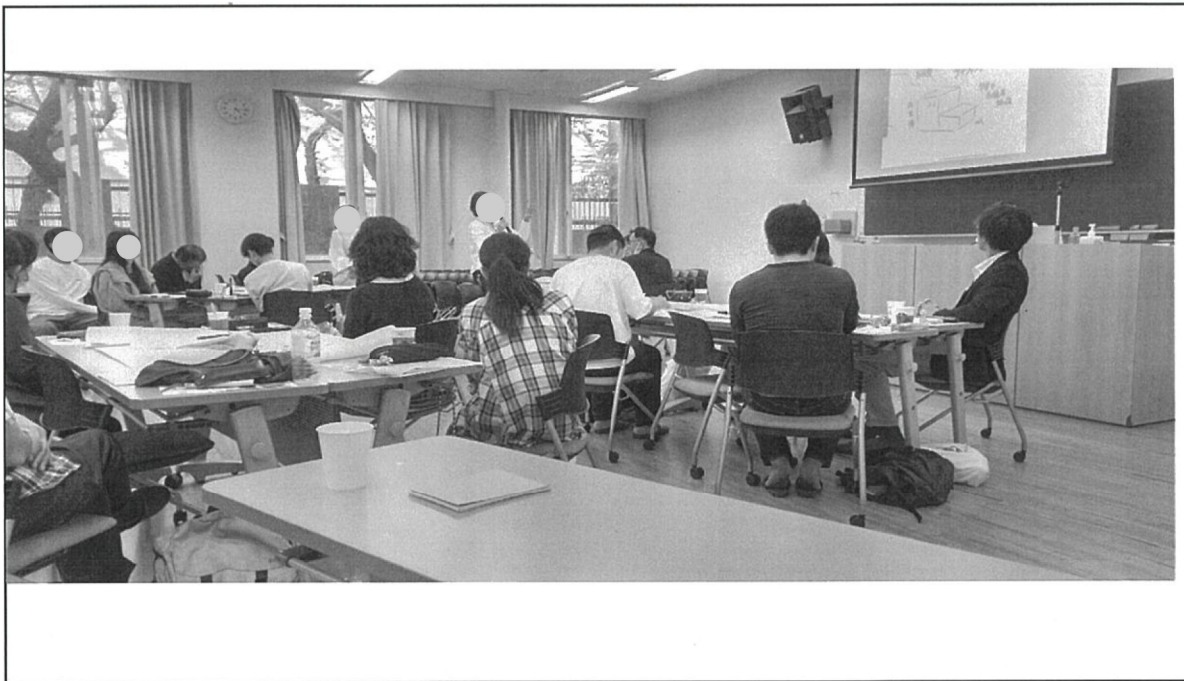
補助決定事業の名称	赤レンガ保存活動2024
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・赤レンガ追加調査見学会-1の実施 ・赤レンガ追加調査見学会-2の実施 ・赤レンガ追加調査の結果をまとめ展示公開 於：和洋女子大資料展示室 実施 ・ワークショップ「赤レンガの活用についてのアイデア」を参加市民の意見を発表と同時にグラフィック表示する新しい方法を採用し実施した。 ・赤レンガの追加調査結果、ワークショップの結果のまとめを反映した計画試案を南口図書館で展示。 ・同時に近現代建築写真展示を実施した。 ・追加調査見学会は県担当課の要求するシビアな条件、日程の調整の難しさはあるが、2回の調査を実施できたことの効果は机上の勉強会の数倍にも値する。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・赤レンガホームページ、Instagram、ツイッターなどで情報発信 ・イベント参加者に対して個別に連絡 ・ミニコミ誌などによって情報発信している。 ・南口図書館の展示は多くの市民の目に触れる機会、上記のツールに馴染まない市民に対する効果はおおきい。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・事業の目的「赤レンガ倉庫の保存と活用」について作業やイベントを通じ直接的に市民に語り掛ける事が出来たこと。得るところは多かった。 ・同時に赤レンガをいかす会、ユースグループ、千葉商大学生、和洋女子大学生の協働による作業への取り組みが会の目的を継承し、将来の活動の基盤になって行くことに見通しが出来てきた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・赤レンガをいかす会の会員の高齢化が問題である。イベントやその他の機会に赤レンガの保存と活用に興味を持って参加してくれる人材を増やし組織としての若返りを図っている。 ・赤レンガの保存方法の研究をすすめ実施計画に対する提案を行う。 ・赤レンガの活用について市民、県民に対して啓蒙活動を進める。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : ワークショップ「赤レンガ倉庫と血清研跡地の利活用について」

撮影年月日 : 2024年10月20日



タイトル : 赤レンガ倉庫調査見学参加者（午前の部）

撮影年月日 : 2025年2月21日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：赤レンガ保存活動2024

1【収 入】

項 目	金 額	説 明（積算等）
事業収入	4,500	講座参加費
寄附金収入	100,000	有志より寄付
補助金収入	150,000	
その他 （助成金等）		
会費充当	74,400	団体の本会計より充当
合 計	328,900	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明（積算等）
報償費	60,000	60,000	外部講師等の招へい あり
特別研究費	150,000	150,000	25,000./人×6人
交通費	19,500	18,000	公共交通費18,000（別表） 駐車料1,300+200
消耗品費	56,320	47,200	のりパネ10枚22,260、P-ink4色11,879、 模型材料7,552+2,040、ヒツキ虫6,354
印刷製本費	26,400	25,000	B1大判出力@2,640×10枚
通信運搬費	4,140	4,140	宅急便1,080、レターパック860、切手2,200
保険料	0	0	利用せず。適した保険商品が無かった。
使用料及び賃借料	2,540	2,540	公民館使用料 3回分
原材料費			
会議費	10,000		
合 計	328,900	306,880	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和7年3月21日

市川市長

団 体 名 特定非営利活動法人 アート・空の会
(団体番号 60)
代表者名 XXXXXXXXXX
所 在 地 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

令和6年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	170,318円
(2) 補助対象経費総額	116,726円
(3) 補助金交付決定額	61,740円
(4) 補助金交付概算払額	61,740円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	市川みんなのアート
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 市川みんなのアート展として、 ①私の一枚・一品展(令和6年9月18日～24日) ②ハート&アート展(令和6年12月11日～18日) ③笑顔展(令和7年1月21日～27日)及び各アート展のワークショップを行ってきました。 ①私の一枚・一品展については、市民の高齢者を中心に、多くの方の参加があり、良い方向になったと思います。 ②ハートフルアート展については、商工会議が最近、同じような名称を使って行うようになったために、参加者が少なくなりましたが、その参加者のほとんどが自閉症のある知的障害の作品でしたので、今回、私のところでは主に統合失調症などの精神疾患のある人たちや視覚障害者の作品を中心に展示するようにしました。その結果、作品内容も良くなりましたが見学者とトラブルもあり難しくなってきました。 ③笑顔展については、高齢者が多くなり音楽演奏は行わず、懇談会形式して地域交流を行うようにしています。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	私たちの団体は広報活動は公民館等を使用せず、法人事務所と併用しているギャラリーを使用しているため、市の広報誌が利用できません。 そこで、ホームページや地域紙に情報ページに載せています。しかし、それ以上に、高齢者の参加が増えているため口コミで事業内容が広がって参加者は増えて来ています。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 市民の中には趣味や楽しみを持ちたい方が大勢います。しかし、絵画等を制作するためには高価な画材や掲示費用がかかるため、市の補助金でワークショップを行い、しかも展示も出来るので参加者は大変喜んでます。特に年金暮らしの高齢者や生活保護を受けている障害者は作品を制作したくても、制作の仕方が分からずワークショップを行うのは良かったと思います。 また、一人暮らしの高齢者は引きこもりになりがちで、コミュニケーションが少なく認知症にもなりやすくなります。 そこで絵画等の制作活動のワークショップを行うことは、仲間もでき生きがいも生まれ、認知症の予防になっています。 また、絵画制作はアート・セラピーにつながり有効であることは精神医学から認めれた有効な方法です。特に精神障害のある人は人との関りができにくいので、絵画制作を健常者と一緒に行うは対人恐怖や適応障害が良い方向につながり治癒されている方もいます。 視覚障害の人たちは、最初から絵画や彫刻はできないものと考えていますが、粘土等でワークショップで作品が作れるととても感動しています。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 補助金事業を実施したことでの課題は、補助金の使用項目が決まっていることです。この事業の目的は高齢者や障害者に絵画や音楽を行い、みんなが交流することで効果を上げるものです。そのためにはお茶菓子程度の食費費が出て良いと思いますが、それが認められないところに課題があります。 お茶も飲まずに交流会や懇談会を行うことは難しく、この課題解決のためには参加費を取る際にお茶菓子代も含めて徴収したり、空の会費からの出費を取るしかないと考えています。 そのために、会員の方にそのことを理解してもらう事が大切だと思っています。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

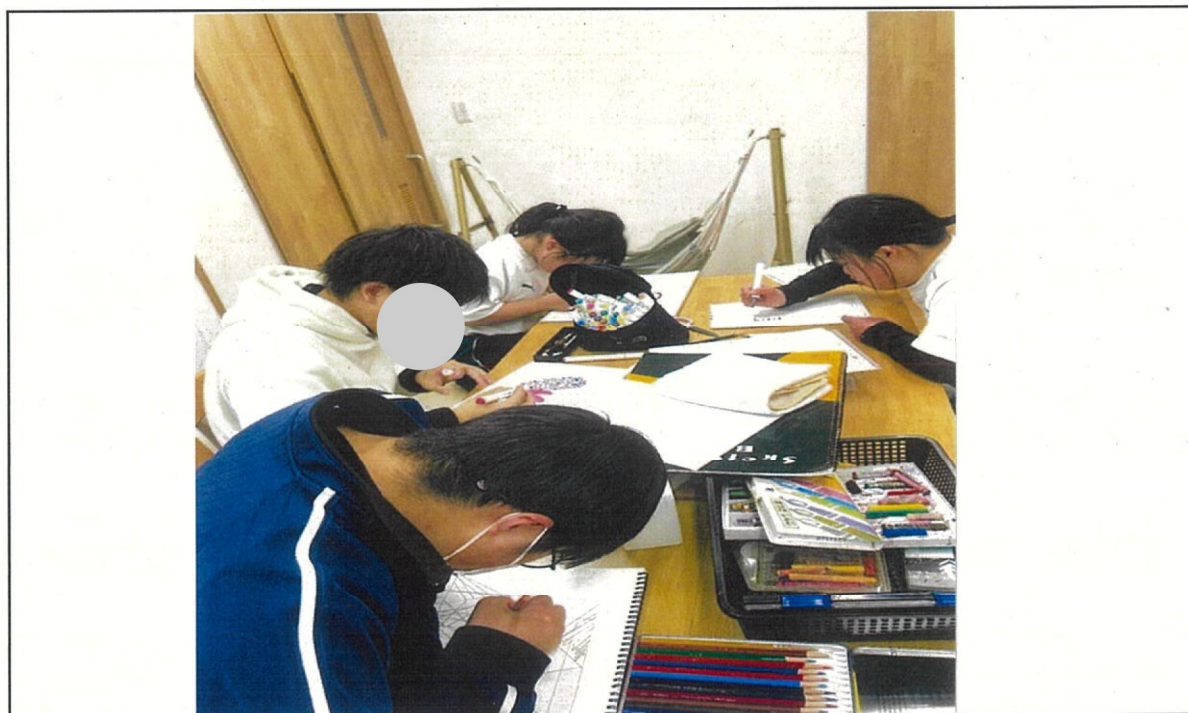
タイトル : 一枚一品展

撮影年月日 : 令和6年9月19日



タイトル : ハート・エンド・ハート展のワークショップ

撮影年月日 : 令和6年11月12日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：市川みんなのアート

1【収 入】

項 目	金 額	説 明(積算等)
事業収入	55,200	市川みんなのアート
寄附金収入		
補助金収入	61,740	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
補助金返金	-3,377	
会費充当	56,755	団体の本会計より充当
合 計	170,318	

2【支 出】

項 目	支出金額	うち補助対象金額	説 明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費	20,400	19,200	八千代台～京成八幡 往復30回
消耗品費	59,058	50,000	画材、文具、インク等
印刷製本費	47,014	29,080	ポストカード印刷、チラシ印刷
通信運搬費	18,446	18,446	郵便料、切手代
保険料			
使用料及び賃借料	21,000	0	部屋代7,000円×3回(補助対象外)
原材料費			
その他経費	4,400		ポスティング代
合 計	170,318	116,726	

※ 領収書(原本)を添付してください。